

本庄市重点目標 『高齢者への夕方・夜間における明るい服と反射材の着用促進』

今年も秋の全国交通安全運動が始まります。歩いているとき、自動車を運転中、自転車に乗っていると、「危ない！」と感じたことはありませんか。いつ、誰の身に起きてもおかしくない交通事故。事故にあわないためにはどうしたらよいでしょうか。

★危機管理課 ☎251184

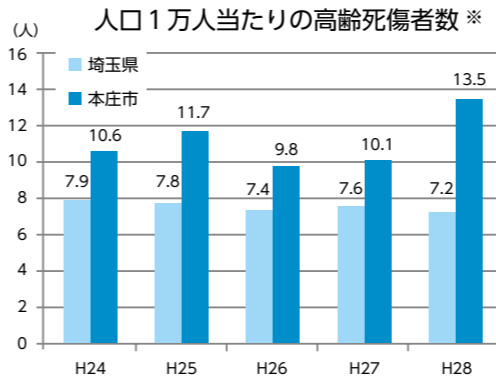
埼玉県では約2万7千件、本庄市は・・・

埼玉県では昨年人身事故が2万7,293件発生し、3万3,298人の死傷者が出ています。

市内では、昨年の人身事故が516件発生しており、事故による死傷者は684人。平均すると毎日市内のどこかで人身事故が約1.4件発生し、約1.9人の死傷者がでています。

増える高齢者の事故

昨年の県内の交通事故死亡者は151人、そのうち65歳以上の高齢者はおよそ6割で86人でした。市内でも昨年1人、今年2人の高齢者が事故で亡く



なっており、過去5年間、毎年高齢者が事故によって亡くなっています。また、市内人口1万人当たりの高齢者の死傷者数は常に県の数字を上回っています。このようなことをふまえ、秋の全国交通安全運動の本市の重点目標は高齢者が対象です。

知ってほしい 事故が多い場所・時間

人身事故がどのような場所で発生しているかご存知ですか。交差点での追突や出会い頭の事故が最も多く、脇見運転や一時停止をしなかったことが原因で事故が起きています。

また、大型店舗やコンビニの駐車場では、駐車しようとする時に、ポールやフェンスなどに衝突する物損事故も増えています。通勤や通学などで交通量が増える午前8時～10時、午後4時～6時の時間帯に事故が多く発生しています。

大切なのはおもいやりと交通マナー



本庄警察署交通課 長谷川 国夫 警部

本庄警察署の長谷川警部は本庄地域の交通事故について「国道17号線や国道462号線などの幹線道路での事故が特別多いわけではなく、実は市道の事故のほうが多い。身近な生活道路にこそ危険が潜んでいる」と話します。

また、高齢者の事故が多発していることから、7月には街頭で反射材ステッカーを配布。高齢者に交通事故防止を呼びかけました。

「車の運転手さんは、子ども・高齢者・自転車を見かけたら速度を落とすなど、おもいやりの心を持って、運転をしてほしい。交通マナーを守り、危険な運転をしないよう心がけてほしい」と長谷川警部は話してくれました。

冷静な運転を心がけて

堀口警部は「交通指導で訪れる企業や団体の方はとても熱心に聞いてくれる。一方で『事故を起こさなければいい、捕まらなければいい』という安易な考えの人も一部にはいる。人によって意識に差があるので継続して呼びかけをしていくことが大切」と語ってくれました。



児玉警察署交通課 堀口 晴幸 警部

「自動車を運転するときには、気持ちに余裕を持って運転してほしい」と話すのは児玉警察署の堀口警部。

高齢者には反射材が付いたたすきを配布し、事故防止活動をしています。また、ドライバーには「反射材もライトが当たらないと役に立たないので、自動車を運転するときは早めのライト点灯をしてほしい」と呼びかけています。

秋の交通安全運動出陣式

★危機管理課 ☎251184、総務課 ☎721332

本庄地域

日時：9月18日(月) 午前10時～正午 会場：本庄市役所前庭駐車場

10時30分からは県内各地で演奏や演技を披露している埼玉県警察音楽隊と旗の演技をするカラーガード隊が出演します。

- ◆白バイ・パトカーの乗車体験
- ◆ポップコーンや綿菓子もらえるクイズ
- ◆来場者先着 350 名に、季節の花の苗一株と交通安全啓発品の プレゼント



児玉地域

日時：9月21日(木) 午前9時45分～ 会場：フレッセイ児玉店駐車場

交通安全広報大使のガリガリ君がやってきます。

- ◆県立本庄特別支援学校の生徒のみなさんによる歌と踊り
- ◆こだま民謡連合会による演奏 ◆季節の花のプレゼントなど

事故防止ポイント

- 子どもや高齢者に配慮した優しい運転を心がけましょう
- 夕暮れ時や夜間の外出には、早めのライト点灯と反射材着用で事故を防止しましょう
- 全席でシートベルト&チャイルドシート着用を徹底しましょう
- 飲酒運転は絶対しない！させない！

(※) 出典：埼玉県警察本部交通部交通企画課